

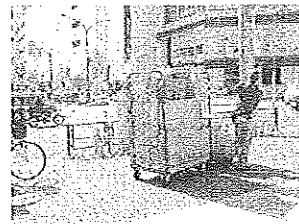
平成26年度 桜蔭中学校入学試験問題 [社会]

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

I 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

遠くはなれた場所に人や物を移動させたり、情報を伝えたりする方法はさまざまです。現在、主な移動の手段には、①鉄道・自動車・船舶・航空機があります。それぞれの輸送手段には特性があり、一般に、人を時間通りに輸送するには **A** が、重い物を遠くまで安く運ぶには **B** が、配送先まで物を運ぶには **C** が適しています。しかし、その特性は、国土のようすによって異なることもあります。たとえば、②船舶は、海をわたってきた船が、そのまま川をさかのぼれる地域ではきわめて有効な輸送方法です。しかし③日本ではヨーロッパなどに比べ、内陸の河川交通はあまりさかんにはなりません。

これらの交通手段は、より速く、より多く、より安全に人や物を運ぶことを目的として発達してきました。さらに最近では、環境のことも考えられるようになりました。たとえば日本では④温室効果ガスを削減するために、トラックによる長距離の貨物輸送を鉄道に変えていく「モーダルシフト」という方法がとられています。⑤トラックによる輸送の問題点を少しでも解消しようとする方法も編み出されました。その方法の1つを示したのが下の写真です。左の写真は、大きな商店街の幹線道路沿いに設けられた施設で、右の写真は、そこから配達に向かうようすを写したものです。



しかしどのような交通手段でも、移動距離が長いほど、環境には負荷がかかります。そのため物の移動を短くするために、地元でとれたものをできるだけ使うという **D** 運動も行われています。

はなれた人と人をつなげる手段である通信の方法も、日々進歩しています。インターネットや国際電話通信によって、海をへだてた地域とも、すぐに⑥情報をやりとりできる時代になっています。

地域間分業が進んだ現代では、交通や通信の重要性は、ますます高まっています。2011年3月の東日本大震災では、鉄道や道路が寸断され、通信にも大きな障害が起きて、日本中が混乱に陥りました。被災していない工場も、資材の調達が滞り、全国的に影響が出ました。また被災地の情報が伝わりにくく、救助に入るのが遅くなった地域もありました。一方で、交通や通信の発達には、地域差を広げることもあります。現在、日本ではリニア新幹線もふくめた新幹線の整備が進んでいますが、⑦交通や通信の整備は、地域の将来にも大きな影響を与えるのです。

問1 文中の下線部①について、次の表は日本国内の人（旅客）と物（貨物）の輸送手段別の割合を示しています。表中の あ・い のうち、物の輸送手段を表しているものを記号で答えなさい。

	鉄道	自動車	船舶	航空機
あ	28.7%	65.6%	0.2%	5.5%
い	3.9%	63.9%	32.0%	0.2%

数値は2009年のもの
『日本国勢図会2013/14』による

問2 文中の **A** ・ **B** ・ **C** にあてはまる輸送手段の正しい組み合わせを、表中の あ～え から1つ選び、記号で答えなさい。

	あ	い	う	え
A	鉄道	航空機	自動車	鉄道
B	船舶	鉄道	鉄道	航空機
C	自動車	自動車	船舶	自動車

問3 文中の下線部②について、次の表は、船舶によって日本へ運ばれる物の、重量と金額の上位4品目を示しています。表中の X にあてはまる輸入品目を答えなさい。

	1位	2位	3位	4位
重量	原油	X	鉄鉱石	液化ガス
金額	原油	液化ガス	X	鉄鉱石

2011年の順位
『日本国勢図会2013/14』による

問4 文中の下線部③の理由として、ヨーロッパなどに比べ、日本の河川は船がさかのぼるには急流が多いという地形的な理由とともに、気候的な理由もあります。日本の気候が河川交通に与える影響を、次の河況係数（河川のある地点で調べた最大流量を最小流量で割った数値）の表を参考にして答えなさい。

日本	河況係数	ヨーロッパ	河況係数
信濃川	117	テムズ川	8
荒川	3968	ドナウ川	4
紀ノ川	6375	ライン川	18
江の川	1415	セーヌ川	34

二宮書店『データブックオブザワールド2014』による

問5 次の各文は、かつて船による交通がさかんであった河川の周辺の地域について述べたものです。各文が表す河川の位置を次のページの図1中の あ～け から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- 河口近くにある都市では、この川を使って運ばれた上流の木材を使って、楽器製造などがさかんになった。
- 河川の改修工事によって上流地域と河口の大都市の間の舟運がさかんになった。河口の大都市は海運によって全国の多くの都市とも結ばれ、江戸時代には米などの流通の中心となった。
- 下流での水害を防ぐために行われた江戸時代の改修工事によって、流路が大きく変わった。運河や他の河川で大消費地と結ばれ、しょう油の生産などがさかんになった。
- 数百年間にわたって行われた遠浅の海の干拓が進むにつれて、流路ものびた。干拓地の用排水のために作られた掘割は、舟運にも使われてきた。

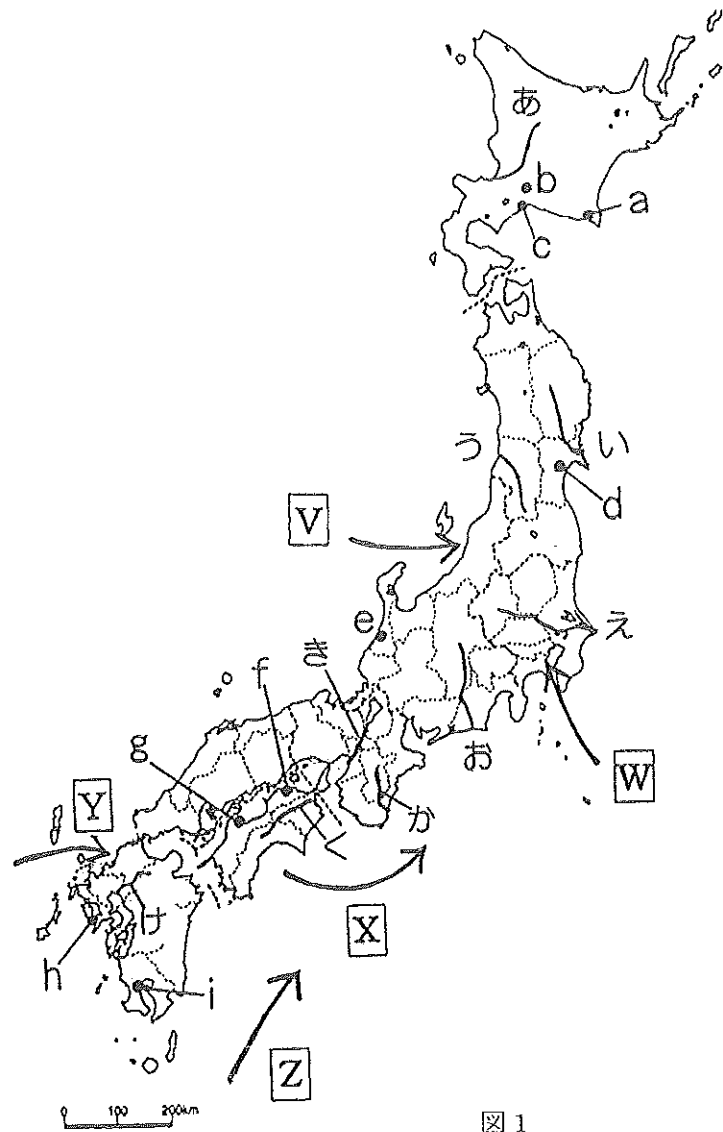


図1

問6 次の各文は、東京に住む桜子さんが訪れた都市について述べたものです。各文が表す都市の位置を、図1中の a～i から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- 1 家族の運転する車でフェリーを使って着いた。この港は、かつて石炭の積出港としてつくられたが、現在は家畜の飼料輸入基地であるほか、製紙・自動車・石油などの工場があるそうだ。
- 2 東京駅から寝台車を使って着いた終点の駅のそばには、大きな船着き場があった。途中でわたった大きな橋は、道路と鉄道の二層構造になっていた。
- 3 2011年に全線開通した新幹線も使って着いた都市にはちょうど東風が吹いていて、灰が降っていた。
- 4 国内線でもっとも旅客数が多い航空路線を使って空港に着いた。この空港のある都市は、各地への交通網が発達している。そのため空港は、電車などに乗って気候の特徴をいかした行事を見に行く国内外の観光客でにぎわっていた。

問7 図1中の矢印 V～Z は人や物の動きの一部を表したものです。次の各文のうち、正しいものをあ～お から2つ選び、記号で答えなさい。

- あ Vは中国から高速船で、多くの観光客が訪れることを示している。

- い Wはオーストラリアから肉類や石炭が輸送されることを示している。
 う Xは8月を中心に高知からピーマンやキュウリが首都圏へ出荷されることを示している。
 え Yは中国から石油や衣類が輸送されることを示している。
 お Zは3月を中心に沖縄からキクの花が出荷されることを示している。

問8 文中の下線部④の温室効果ガス削減に関して述べた次の各文のうち、誤りをふくんでいるものをあ～え から1つ選び、記号で答えなさい。

- あ 日本では現在、原子力発電所が停止しているため、稼働しているときに比べると、温室効果ガスの排出量は増加している。
 い 昨年開かれた地球温暖化防止に関する国際会議で、日本が提出した排出量の削減目標は「後退した」という批判を浴びている。
 う 日本をふくむ温室効果ガス排出量の上位5カ国は現在、温室効果ガス削減に関する条約に参加している。
 え 温室効果ガス削減に関する条約では、他国への削減技術協力をしたり、森林を増やしたりすると、その分を自国の削減量とみなせる取り決めがある。

問9 文中の下線部⑤について、文中の写真の施設は、温室効果ガスを削減する目的以外に、どのような問題点を解決するために作られたか、1つあげなさい。

問10 文中の D にあてはまる語句を漢字4文字で答えなさい。

問11 文中の下線部⑥の情報の伝達について述べた次の各文のうち、誤りをふくんでいるものをあ～え から1つ選び、記号で答えなさい。

- あ 人工衛星によって国際通信が行われるようになって、それまで国際通信を担ってきた海底ケーブルによる通信は役割を終えた。
 い 携帯電話は、固定電話よりも設備にかかる費用が安いので、発展途上国では、固定電話よりさきに利用が進む傾向がある。
 う 新聞社では、できるだけ新しい情報を読者に届けるため、新聞の印刷が始まってからも記事の差し替えを行うので、同じ日付の新聞でも、地域によって記事が変わることがある。
 え 2011年に日本で行われた地デジ化（地上デジタルテレビ放送への移行）は、それまで使われてきた電波に空きがなくなったことが大きな理由である。

問12 文中の下線部⑦について、鉄道の整備によって、かえって過疎化が進んだという地域も出ています。それはどういうことか、具体的に説明しなさい。

II 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

2013年4月24日、Aの首都郊外でビルが崩落する事故が起きました。Aでは停電が多いため、繊維産業の中でも手工業的な作業が多いB業が発達しています。崩落したビルにはB工場が5つ入っていましたが、違法建築で強度に問題があったので、事故前日には外壁に大きなひび割れができていました。危険を感じた労働者は不安を訴えましたが、経営者は労働者に工場で働き続けるように強制しました。その結果、ビルが崩落し、1100人以上が亡くなったのです。なぜこのような悲惨な事故が起きてしまったのでしょうか。これは単にAだけの問題ではなく、繊維産業の歴史の中で繰り返されてきたことです。人類とともに歩んできた繊維の歴史と、近代産業としての繊維産業の問題について考えてみましょう。

日本の弥生時代について記された中国の歴史書には、すでに植物の繊維でつくった布が使われていたようすが記されています。律令による支配が行われた時代に、①各地の特産物を中央政府に納める税の中で、最も一般的だったのは布です。布は②貴族の衣装など衣料用として使われる一方で、米とともに貨幣のかわりとしても使われました。しかしその後③中国から銅銭が輸入され、金属の貨幣も出回るようになりました。地方でも、こうした銅銭や布などを使って、月に3回、後には6回、決ま

った日に(1)が開かれ、さまざまな品物が交換されました。このころ庶民が着ていた衣料は主に(2)でできていましたが、やがて朝鮮から新しい繊維が入ってきて、江戸時代には国内でつくられるようになり、庶民の衣料として広まりました。農民はさかんに原料となる作物の栽培を行い、手工業で繊維製品をつくりました。

18世紀になるとイギリスで繊維産業の機械化が始まります。イギリスでは工場で労働者たちが機械を用いて大量に繊維製品を生産するようになると、手工業でつくられていた時より、繊維製品が安い価格で大量に生産されたため、庶民が衣料品を手に入れやすくなりました。より安くよりよい商品をつくるため、技術の進歩も著しくなります。その一方で安く生産するために、労働者たちはひどい環境で長い時間、安い賃金で働かされました。Aでのビルの崩落事故のように工場で事故にあう人もいましたが、労働者ひとりひとは経営者よりも弱い立場にあったため、なかなか働く環境は改善されませんでした。しかしその後、労働者たちは(3)を結成するようになり、自分たちの働く環境の改善を求めていきました。

「世界の工場」と呼ばれたイギリスは、世界最大の生産国として繊維製品を世界へ輸出しましたが、他国もイギリスをまねて繊維製品を機械生産するようになると、イギリスの優位は少しずつ低下していきます。そうした中で台頭したのがアメリカの繊維産業です。20世紀初頭のアメリカの繊維産業を支えたのは、女性や児童労働者たちでした。さらにその後イギリスやアメリカの繊維産業をおびやかしていくのは日本です。

日本の近代の繊維産業について考えていきましょう。(4)年に日米修好通商条約を結び、翌年貿易を始めた時から、日本は世界の市場と大きな関わりを持つようになりました。この時、最も欧米の国々で売れたのが(5)で、④日本から大量に(5)が輸出されました。

明治以降には、国内で繊維産業を中心に近代的な産業が発達します。輸出のための(5)を生産するC業は、ヨーロッパの生産技術が導入され、20世紀の初頭に日本は(5)の輸出量が世界一となりました。C業以上に機械化が進んだ繊維産業がD業です。開港当初はイギリスから機械で作られた製品が入ってきて、日本の手工業によるD業は大きな打撃を受けました。その後日本でも大工場で機械生産を行うようになると輸入は減少し、やがてアジアへ輸出をするようになります。こうした日本の繊維産業は、貧しい農村出身の若い女性労働者に支えられていました。

その後日本の繊維産業は発展していきませんが、ずっと順調だったわけではありません。1923年には(6)が起こるなど、1920年代の日本の経済は不景気が続いていました。さらに1930年にはアメリカから始まった不景気が日本経済に大きな打撃を与え、農作物の値段は大幅に下落し、多くの農民たちが苦しみました。(5)を生産するC業もこのころに衰退に向かっていきます。こうした中でも日本の経済はいち早く回復し、日本のある繊維製品の輸出量は世界のトップとなっていきます。しかし⑤1930年代の後半には日本の繊維産業は停滞し、その後衰退しました。

1945年以降、日本の繊維産業は立ち直っていきます。1951年には再び輸出量世界1位の座に返り咲き、大量の繊維製品がアメリカに輸出されましたが、アメリカの繊維産業から反発が起こりました。アメリカの圧力により1956年には、日本はアメリカへの繊維製品の輸出を自主的に制限するようになります。1960年代、日本の輸出全体に占める繊維製品の割合が減っていき、1970年代に入ると日本にかわって香港・韓国・台湾などが繊維製品の主要な輸出国・地域となっていきます。それでもアメリカは1971年ごろに、日本の繊維製品の対米輸出の制限を求めてきます。これはアメリカの繊維産業が、⑥日本の繊維製品の輸入を制限するようにアメリカ政府に強く求めた結果でした。日本側はこれに抵抗しましたが、このころ日米間では⑦別の問題をめぐり政治的な交渉が続いていたこともあり、日本はこの要求を受け入れます。しかし結局は⑧アメリカも日本も、繊維産業は衰退していきいます。その一方で繊維製品の生産をのばしたEが、今日では「世界の工場」と呼ばれるようになっていきます。さらに近年ではAなどの繊維産業も発展してきているのです。

問1 文中のA～Eについて、以下のa・bの問いに答えなさい。

a AとEに入る国名を次のあ～おから1つずつ選び、記号で答えなさい。

あ ルーマニア い 中国 う ベトナム え インド お バングラデシュ

b B・C・Dに入るものを、次のあ～えから1つずつ選び、記号で答えなさい。

Bは下の表を参考にしなさい。

あ 製糸 い 縫製 う 紡績 え 織布

綿糸の生産			綿織物の貿易			生糸の貿易			衣類の輸出		
2012年	千トン	%	2011年	百万ドル	%	2011年	トン	%	2010年	億ドル	%
中国	19,308	59.6	輸 中国	13,906	41.6	輸 中国	8,854	60.9	中国	1,298	36.9
インド	3,981	12.3	輸 パキスタン	2,648	7.9	輸 インド	1,889	12.5	(香港)	241	6.8
パキスタン	3,099	9.6	出 (香港)	2,041	6.1	出 アメリカ	965	6.6	バングラデシュ	157	4.5
綿織物の生産			輸 バングラデシュ	2,638	9.3	輸 インド	5,678	33.4			
2012年	千トン	%	輸 ベトナム	2,150	7.6	輸 中国	2,211	13.0			
中国	8,262	44.0	入 (香港)	1,882	6.7	入 ルーマニア	1,998	11.8			
インド	4,227	22.5									
パキスタン	3,067	16.3									

二宮書店 『データブックオブザワールド2014』による

問2 文中の(1)～(6)について、以下のa～fの問いに答えなさい。

a (1)にあてはまるものを、漢字3文字で答えなさい。

b (2)にあてはまるものを、漢字1文字で答えなさい。

c (3)は日本では太平洋戦争の後になって法律によって認められ、日本国憲法でもその結成が保障されています。(3)にあてはまるものを、漢字で答えなさい。

d (4)にあてはまる西暦年を答えなさい。

e (5)にあてはまるものを、漢字で答えなさい。

f (6)にあてはまるものを、漢字5文字で答えなさい。

問3 文中の下線部①～⑧について、以下のa～hの問いに答えなさい。

a 文中の下線部①の税にあたるものを次のあ～えから1つ選び、記号で答えなさい。

あ 租 い 調 う 庸 え 雑徭

b 文中の下線部②について、平安時代後半の貴族の男性の正式な衣装にあたるものを次のあ～えから1つ選び、記号で答えなさい。

あ 十二単 い 狩衣 う 袴 え 束帯

c 文中の下線部③について、日本が多量に銅銭を輸入した中国の王朝を次のあ～えからすべて選び、記号で答えなさい。

あ 宋 い 明 う 唐 え 清

d 文中の下線部④の結果どのようなことが起こったか、正しいものを次のあ～くからすべて選び、記号で答えなさい。

あ (5)は国内で不足し、(5)の値段が上がっていった。

い (5)は国内で不足し、(5)の値段が下がっていった。

う (5)は国内で余り、(5)の値段が上がっていった。

え (5)は国内で余り、(5)の値段が下がっていった。

お 国内では物の値段が上がり、人々の暮らしは苦しくなった。

か 国内では物の値段が上がり、人々の暮らしは楽になった。

き 国内では物の値段が下がり、人々の暮らしは苦しくなった。

く 国内では物の値段が下がり、人々の暮らしは楽になった。

- e 文中の下線部⑤の状況はなぜ起こったのか、1930年代後半の日本の対外的な行動に触れて、30字以内で説明しなさい。
- f 文中の下線部⑥のほかに、アメリカ政府はある税を課して、アメリカの繊維産業を守っています。各国も国内の産業を守るために用いている、この税は何か、漢字で答えなさい。
- g 文中の下線部⑦の交渉によって、1972年に実現した、日米間の重要な政治的課題となっていたことは何か、答えなさい。
- h 文中の下線部⑧について、繊維産業が発達するには条件があります。先に繊維産業が発達した国に対して、後から繊維産業が発達した国や地域には、どのような利点があるのか、問題文を参考にして30字以内で答えなさい。

Ⅲ 次の①～⑤の文中の空欄(1)～(5)に適する語句を記しなさい。さらに **A** ～ **E** には適する語句を①～⑤のあ～えから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 2013年9月4日、最高裁判所は、(1)権を行使して、現在の民法の相続に関する規定が **A** を保障した憲法に反すると判断した。
あ 生存権 い 法の下での平等 う 職業選択の自由 え 表現の自由
- ② 中央省庁の1つに、2001年の中央省庁再編のときに新たに発足した(2)府がある。(2)府は、各省庁の一段上に位置していて、各省庁間の調整を行っている。また、行政機関のチェックや地方自治、通信などに関する仕事を行っているのは **B** 省である。
あ 総務 い 法務 う 経済産業 え 国土交通
- ③ 行政は、与党の政治方針にもとづき、内閣総理大臣と国務大臣とが参加する(3)と呼ばれる会議で具体的な政策を決めて、仕事を進めていく。司法では、裁判官はその良心に従って、憲法および **C** にもとづいて判断を下さなければならない、と日本国憲法は定めている。
あ 常識 い 証拠 う 法律 え 信念
- ④ 日本国憲法は政治のあり方として間接民主制を基本としている。ただし、日本国憲法は国の政治制度として、最高裁判所の裁判官としてふさわしいかどうかを国民が直接に判断する(4)という制度をとりいれている。また、地方自治法は地方の政治制度として、住民の側から地方公共団体が仕事を正しく行っているかどうかの **D** を請求するなどの直接請求の制度を定めている。
あ 捜査 い 裁判 う 公開 え 監査
- ⑤ 国際連合のおもな機関のうち、全加盟国が参加して毎年開かれる(5)では、国家間の約束である条約が採択されることがある。国際的な非政府組織(NGO)が主導して採択される条約もあり、その1つとして1997年に採択された **E** をあげることができる。このNGOは、同年、ノーベル平和賞を受賞した。条約が効力を持つことにより、死傷者が減少することが期待される。
あ 核拡散防止条約 い 対人地雷禁止条約
う ハーグ条約 え 包括的核実験禁止条約(全面的核実験禁止条約)

I

問1		問2		問3	
問4					
問5	1	2	3	4	
問6	1	2	3	4	問7
問8		問9		問10	問11
問12					

II

問1	a	A	E	b	B	C	D
問2	a			b		c	d
	e			f			
問3	a	b	c	d			
	e						
	f		g				
	h						

III

①	1	権	A	②	2	府	B
③	3		C	④	4		D
⑤	5		E				